

名古屋名駅ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



～人類に奉仕するロータリー～

Rotary
Club of Nagoya Meieki

名駅ロータリークラブ 会長方針「一隅を照らす」

スローガン「超我の奉仕」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル

会 長：藤井 圓隆
副 会 長：大輪 稔
幹 事：神保 誠
クラブ会報：川口 益弘

2016-17年度 R.I. 会長
ジョン F. ジャーム

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1188回例会

3RC合同ガバナー公式訪問例会

ロータリーのブランディングを考える。

2016年9月28日(水)

(平成28年)雨 No.12

- 司会 小野沢透 会場運営副委員長
□ロータリーソング 「君が代」「我等の生業」
□ゲスト紹介
R12760地区 ガバナー 服部良男君
地区幹事 岩月昭佳君 地区事務長 加藤博巳君
名古屋中央RAC 会計 村田 諒君

- 出席報告 会員総数77名(免除者13名)
義務者出席50名 免除者出席8名 総数58名
出席率80.56% 9月14日分修正出席率100%

□黙祷 大沢輝秀パストガバナーのご逝去を悼んで



会長あいさつ

藤井圓隆会長

本日は2760地区服部良男ガバナーをお迎えし、名古屋みなとRC、名古屋丸の内RC、名古屋名駅RC合同の例会です。大変お足元の悪い中、大勢の方に参加して頂き、誠にありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

例会に先立ち、11時30分より服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤事務長と、3RC会長幹事の懇談会を持たせて頂き、大変貴重なお話を沢山頂戴しました。まさに身が引き締まる思いがしました。

さて、服部ガバナーは、「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」という地区方針のもと、ただいま邁進中ですが、この言葉は言わば、ロータリアンのクオリティーのアップと会員増強を高らかに掲げられた方針であると思います。

最重点課題としては、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を謳っておられます。具体的には、My Rotaryへの登録、FacebookやTwitterの利用により、ロータリーを社会に知らしめることです。そして、地域の中に課題を見つけ、地域のために良い仕事をし、それを地域の方に知って頂いて、ロータリーの評判を益々高めようという

ことを述べられております。

昨今、ロータリーの根本的な課題について色々取りざたされていますが、先程の懇談会で服部ガバナーのお話を伺い安心しました。服部ガバナーの仰るには、変化の時代に柔軟性を持ち、ロータリーの100年後を見据え、各クラブが責任を持って活動してくれ、ということでした。これを肝に銘じ、今後のロータリー活動に活かしていきたいと思います。

我が名駅RCは次年度、神野ガバナーを輩出させて頂きます。今日のガバナー訪問は我々にとって格好の勉強の場であり、今日のガバナー訪問をしっかり目に焼きつけ、スタッフ一同、次の神野ガバナー年度に向けて一生懸命頑張っていきたいと思えます。今日ここにお集いの皆様方には益々のご支援を宜しくお願い致します。

□幹事報告 神保 誠 幹事

- (1)秋の家族旅行会のご案内を先週メールにて発信しました。日にちは11月26日(土)～27日(日)、1泊2日です。申込締切日は10月31日(月)ですが、定員30名になり次第締め切りますので、お早めに事務局までお申込み下さい。
- (2)先週理事会で恒川和男君の入会が承認されました。入会式は10月12日、配属は会場運営委員です。
- (3)10月22日(土)～23日(日)開催の第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ(WFF)のチケットを、申込まれた方のメールボックスへお入れしました。間違いがあれば事務局へご連絡下さい。

10月は経済と地域社会の発展月間/米山月間です

< 例会開催予定 >

◇第1189回10月5日(水) 通常例会(立食)

誕生日・結婚記念日祝福

米山奨学生 張 嘉桐君来訪日

◇第1190回10月12日(水) 通常例会(和食)

新入会員卓話(2名)

入会式 恒川和男君

- (4)9月20日、パストガバナー(2009-10年度、豊川RC第41代会長)の大沢輝秀君がご逝去され、近親者にて密葬が行われました。歴代会長、役員、理事へ通知し、クラブ会長名で弔電をお送りしました。ここに追悼の意を表し、謹んでご連絡申し上げます。なお、11月1日(火)に社葬の予定です。
- (5)名駅RCのMy Rotary登録が本日53%になりました。引き続きご登録をお願いします。

名古屋中央RAC提唱クラブ調印式

名古屋中央RACは現在、名古屋みなとRC、名古屋丸の内RCが提唱クラブとなっていますが、今年度より当クラブも提唱クラブにさせて頂くことになりました。申請には各提唱クラブの会長、並びにガバナーの署名を頂くことになっており、本日3クラブ合同例会でガバナーをお迎えしておりますので、当例会にて提唱クラブ調印式をさせて頂きました。名古屋中央RACの遠山みのり会長は学校の都合により出席が出来ないため、代理として会計の村田諒君にお越し頂きました。

◇あいさつ 名古屋中央RAC 会計 村田 諒君



今回は、名古屋名駅RCが新たに提唱クラブに加わって頂けることになり、クラブ員一同大変感謝しております。名古屋中央RACは、18歳から30歳までの若い人しかおりませんので、ロータリークラブの皆様には今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

◇服部ガバナーの署名

事前に名古屋中央RACの遠山会長、みなと、丸の内両クラブの会長よりサインを頂いており、この場で服部ガバナーから署名を頂戴しました。



ガバナー講話

◇ガバナー紹介 名古屋丸の内RC 森田正樹会長



服部ガバナーは1989年1月に岡崎RCに入会され、2010-11年度にクラブ会長、地区では2006-07年度に地区ローターアクト委員長を務められました。職業分類は厨房機器製造で、服部工業株式会社の代表取締役です。また、岡崎商工会議所副会頭など多くの公職にもつかれております。それでは宜しくお願いします。

国際ロータリー第2760地区 服部良男ガバナー



本年度ガバナーを拝命しました服部良男です。岡崎RCの所属です。本日はこの3RCの合同例会を大変楽しみにして参りました。会長幹事懇談会では、思った通りとても素晴らしいクラブで、この地区をリードして頂ける3クラブだなとつくづく感じました。

●ジョン・ジャームRI会長のテーマ

まず、今年度のジョン・ジャームRI会長をご紹介します。アメリカ人で、ロータリー歴40年。財団等に大変功績のある方です。

アメリカは今年度のRI会長を輩出し、来年6月には世界大会をアトランタで開催するということで、私が1月に参りましたサンディエゴの国際協議会は大変盛り上がりしていました。その中のスピーチで、ジョン・ジャーム会長は今年度のテーマを発表し、中身について説明をして頂きました。

テーマは“Rotary Serving Humanity”、日本語では「人類に奉仕するロータリー」です。そして、スピーチの中でこう仰りました。1つは、今年はロータリー財団100周年です。それぞれのクラブで財団の100周年を振り返り、祝って下さい。何か記念する事業をして下さい、ということでした。

もう1つは、ポリオ撲滅活動を皆で行いましょう、ということです。

そして、アトランタの世界大会に是非来て下さい、と仰いました。100年前にアトランタで開催された世界大会で、ロータリー財団はスタートしました。今年また、アトランタで世界大会が開催されますので、財団100周年を祝いたいということです。

当地区はそれに加え、初めてRI理事になられた斎藤パストガバナーをお祝いするためにも、大勢の方にアトランタに行って頂きたいと思います。

テーマの“Rotary Serving Humanity”はわずか3語です。シンプルでとても良いテーマだと思います。一番のキーは“Serving”だと思います。ing形です。すなわち、奉仕し続けるのだ、という彼の思いが入っています。

彼はスピーチの中でこう言い換えています。“Every Rotarian should be Serving for people everyday”。「ロータリーは……」ではありません。我々1人ひとりのロータリアンに向け、「全てのロータリアン1人ひとりが、毎日人に対して何か奉仕活動しよう、それがロータリーだ」と言っています。彼はそれを“Serving”というing形に込めているのではないかと感じました。

彼はファイナルスピーチではこう言いました。「ロータリアンは、困っている人がいたら背を向けず、自分の出来ることをする、それが奉仕だ。その結果、人が笑顔になること、そして仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げること、それがロータリーだ」。それはまさに“Rotary Serving

Humanity”であり、社会奉仕や国際奉仕や青少年奉仕にも繋がっていきます。

●ロータリーのブランディング

RIは戦略計画として大幅な変革を進めています。RIは会員減少に危機感を持っています。RI全体で現在の会員は123万人弱です。全体では10年程横ばいですが、先進国では2割3割会員が減っています。増えているのは台湾、韓国、スリランカ、インドなどです。ですから、ロータリーがこれから100年、今までの輝きを持ち続けられるだろうか、RIは危機感を抱いているのです。

日本でも12万名を超えていた会員が、今は8万8,000人弱となり、15年で3割弱減っています。当地区でも6,000人を超えていた会員が、昨日現在4,820人程ですから、やはり2割3割減っています。

自分の会社の売上が10年間右肩下がりで減っていたら、我々経営者はどうするでしょうか。これが今、RIが考えていることだと思います。

何をすればもう1回右肩上がりにしていけるでしょうか。そのためには、「ブランドマーケティング(ブランディング)」をすることです。

第1ステップは、我々の強みや価値は何なのか、我々のブランドを再認識することです。第2ステップは、その価値、強み、ブランドを、組織全体で共有することです。100人が100人違うことを言うのではなく、ブランドの共有が必要です。第3ステップは、そのブランドを使った商品やサービスを作っていくことです。そして第4ステップが、その商品やサービスをマーケティングすること、すなわち、お客様に「これが我々の商品・サービスです」とブランド価値を伝えることです。

では、ロータリーにとって、第1ステップである強み、ブランドとは何でしょうか。ロータリーでは中核的価値(core values)として、5つのcore valueを掲げています。

①Fellowship(親睦)。Fellowとは同じ目的を持った仲間のことです。世界を平和にするという同じミッションを持った仲間が123万人います。②Integrity(高潔性、倫理性)。ロータリーの一番の原点であり、「四つのテスト」にある遺伝子です。真実かどうか。皆に公平か。好意と友情を深めるか。皆のためになるかどうか。この4つの軸を持って仕事、ロータリー活動、社会生活を行うのがロータリーです。世界200ヶ国以上の123万人が、この理念を持って奉仕活動をしています。そんな団体が世界に他にあるでしょうか。③Diversity(多様性)。まさに200を超える国で、国、性別、職業、宗教の違う人たちが同じ目的に向かって111年間一緒に歩んできました。多様性には、寛容さがなければいけません。色々な人たちが寛容さを持ってラウンドテーブルに集ったのが、ポール・ハリスのロータリーの始まりでした。ロータリーは今もその寛容さを持ち続けているからこそ、111年間続いてきた訳です。④Leadership(リーダーシップ)。ロータリーに

は地域・社会のリーダーが集まっています。しかし、ロータリー活動を通じて、会社の社長とは違うロータリーのリーダーシップを勉強していくのです。⑤Service(奉仕)。先の①～④はロータリアンやロータリーの持つ特徴です。⑤のServiceだけは、ロータリアンやロータリーが人々に与える言動や行動です。①～④を使って⑤の奉仕をし、困っている人を笑顔にしていけるのです。

5つのブランドを認識・共有し、それを使って“Serving”という商品を作り出し、その価値を困っている人たちに与えて笑顔にして、更にその良さを伝えること。それがロータリーの奉仕活動です。

それでは、毎日人を笑顔にする活動をこれから100年間持続するにはどうすればいいのでしょうか。そこに必要なのが資金です。ロータリー財団は100年間その資金をしっかりと管理し、奉仕活動に使ってきたからこそ、今のロータリーがあります。財団とロータリーは両輪であり、どちらかがなくても多分ロータリーは存続していなかったと思います。財団100周年の今年、その価値をもう1回見直し、皆でお祝いしましょう。そして、次の100年に向けてそれをリファインしていきましょう、ということです。

●地区の方針

さて、地区の方針は「Be The Rotarian、Find A Rotarian～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～」です。そして、①ロータリーのブランドを認識し、磨きましょう。②人道的奉仕活動に参加し、人を笑顔にしましょう。③仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブランドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましょう、の3つをあげました。その基本は“Rotary Serving Humanity”と同じです。

ジョン・ジャーム会長はサンディエゴでこう言われました。「ガバナーの皆さん、1年間でやることだけを考えないで下さい。地区の10年後、20年後が輝いていることを、持続可能になるようなことを今年スタートして下さい」。

私の会社は130年の鋳物屋です。鍋釜を作っていました。もし新卒の人に130年の歴史を話し、今こんなことをやっていますと言って、うちの会社に入るでしょうか。入りません。10年後にこういう会社になりたい、だからこういう人材が欲しい、と言わないと入社してくれません。それが今のロータリーにはないのです。過去と現在ばかりなのです。

10年後のために、ビジョンやあるべき姿を明確にし、ロータリアンでない人々に分かる表現でブランドや奉仕活動を伝えていく。これをスタートしないと、ロータリーの持続可能性はないと思います。

続いて3つの重点戦術です。①My Rotaryに登録して下さい。先程、「My Rotary登録53%」という嬉しい報告がありました。My Rotaryはブランドを共有するツールです。My Rotaryには、ロータリーの5つのブランドや、ブランドを使った奉仕活動が全て載っています。登録率50%、入会

3年未満の人は100%が目標です。そのため、My Rotarianという職種をつくりました。3クラブともMy Rotarianを選出して頂いていますが、My Rotarianは各クラブでMy Rotaryの登録利用を推進する担当責任者のことです。また、My Rotaryに入っている情報を例会で皆さんに伝える伝道者です。本来なら公共イメージ向上委員会が務めるといいのですが、毎回例会には来られませんので、My Rotarianを公共イメージ向上委員会がサポートする形に今変えようとしています。

②Club Centralに各クラブのデータや情報、奉仕活動、目標、計画などを登録し、各クラブの奉仕活動をお互いに学んで下さい。RIが「クラブをもっと柔軟的に運用してもいいよ」と言った結果、奉仕活動が増えたか？会員が増えたか？ということとを、Club Centralで確かめて下さい。皆さんで共有して、良いものは世界から取り入れましょう。そのための共有ツールがClub Centralです。

③公共イメージ向上のため、ソーシャルメディアを使ってロータリーのブランドと良さを地域の人に伝えるチームを作りたいと思っています。

●ロータリーの戦略計画

ロータリーの戦略計画の3つの優先項目についてお話ししたいと思います。3つは独立している訳ではなく、お互いが関連しあっています。

まず、「①人道的奉仕の重点化と増加」。今、グローバル補助金は、平和、水、母子、教育など6つの重点分野に絞って使うことになっています。それはなぜかということ、一番笑顔のない人が多い分野だからです。そこに選択と集中をしています。

「②公共イメージと認知度の向上」。今までロータリアンは我々のブランドをあまり認知・共有していませんでした。ですから、My RotaryやClub Centralを使って、もう1回我々の強みは何かを知ろうということです。また、せっかく良いことをしているなら、地域の人にそれを伝えていこうということです。ロータリーの素晴らしさを毎日会社や地域の人に伝えることが我々の役目です。

「③クラブのサポートと奉仕活動の強化」。全ての戦略の基本はここです。ジョン・ジャームさんが言うように、ロータリーとは人が困っていたら奉仕すること、“Serving”すること、笑顔にすることです。これを各クラブの中で実践していくことです。

我々の岡崎RCは創立して66年経ちましたが、奉仕活動に参加する人が段々減り、あるいはお金だけ出して参加しない人がいます。そうしたことが会員減少の原因ではないかとRIは考えております。クラブの活性化のため、我々ロータリアンは、〈奉仕に参加するボランティアの人数〉×〈奉仕時間〉を上げていくことです。そうすれば、ロータリーは永遠に輝いていこうというものが、今年のジョン・ジャームさんのメッセージだと私は思っております。

ただし、20人程の小さなクラブは何が出来るか、ということがありますが、日本には今、NPO法人

が5万3,000程あります。同じ思いを持って活動していても、ロータリー程のブランドがないところが沢山あります。そういうところにロータリーのブランドを貸して、一緒になって人を笑顔にすることをロータリーは「パートナーシップ」と呼び、RIでもすすめています。

最後になりますが、ホームページを変えました。Facebookも見て、「いいね」を押して下さい。そして、10月にはこの地区でワールドフード+ふれ愛フェスタがあります。全てのロータリアンの笑顔が見たいと思います。

私の仕事は、皆さんの活動が増えていくお手伝いをさせて頂くことです。笑顔で皆さんと奉仕活動をしたいと思っています。今日はありがとうございました。

◇謝辞

名古屋みなとRC 鈴木 哲会長



本日は服部良男ガバナーの非常に意義深いご指導とご教授を賜り、本当にありがとうございます。しっかりと肝に銘じて、今後のロータリー活動に役立てていきたいと思っています。

みなとRCの本年度の会長方針は「深めようそして広げようロータリーを」です。ここにお見えの名古屋名駅RCの皆様、名古屋丸の内RCの皆様と共に友情を深め、ロータリーの精神を深め、そしてその輪を広げて参りたいと思います。

また今日は、ホストクラブの名古屋名駅RCの皆様には大変お世話になりました。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー・3RC会長幹事懇談会

例会前の11時30分より、服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤地区事務長と3RCの会長・幹事による懇談会が行われ、様々な話題について活発な意見交換をしました。



ニコボックス

- ガバナー訪問にあたって。(服部良男ガバナー、名古屋丸の内RC 森田正樹会長、名古屋みなとRC 鈴木 哲会長)
- 服部ガバナーをお迎えして。(藤井國隆君)
- 服部ガバナー同様をお迎えして。(清水順二君)
- 服部良男ガバナーの公式訪問を歓迎します。(小室健次郎君)
- 服部ガバナーの公式訪問、ありがとうございます。来年は……と思うと緊張します。(神野重行君)
- 家内の誕生日の花、ありがとうございました。(西川達郎君)
- 健康に感謝して。(川田武司君)
- その他、コーヒー代として1名よりご協力頂きました。